

常磐文藝

朝暗きから 山陰に 没し去りにし 太陽の 薄暗みまで カンテラの 淡き光を 友網と 頼み乍らに 炭壁を コトコトんと 嘴を あて、進む 坑夫等の心はつまし 果てなきは 彼等の心 聴こえて 業絲へて 暗黒の世より 麗かな あかるみへ出で 歸宅へと 急ぎ行く 其の面相には 柔和と 粗暴と 二派に分れて 戀しがる 妻や子供の 測に 接せんとする 美しき 心根よ

讀書家新刊雜誌回讀

即時御加入あれ... 時代の潮流に棹さし豊富なる智識を吸収せんとする人は 御希望の新刊雜誌を加入者の御家庭に配達し七日目毎に 一冊宛を交換し一ヶ月中に五冊を閲覽に供す但冊数を減じ交換日を延ばす事を得

川崎巡回文庫 平町字長橋町三五 御加入される方は希望雜誌五冊を指定し住所氏名明瞭にハガキへ御記入の上申込次第直ちに配本す

看護婦派出の求めに應ず

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

毒氣ある身體にて 困りの御方は 毒退丸の効能を 試みられよ!!! 効能としては梅毒、痔瘡、胎毒、淋病、消渴、癩麻、質斯等凡て毒氣ある身體に特效あり

東京行大工 廿名募集

御希望の方は至急下記迄詳細御問合を乞ふ 申込所 平町南町(郡役所前通) 石山精華堂 湯木町字八仙 渡邊九郎兵衛

製材機械、人魚印丸鋸

自動注油メタル、プリーリー在庫 ゴムベルト、バラタベルト 平町月見町 佐藤鐵工所 電話三六二番



二十二年十二月二十日 刊夕日

定額 一部金貳圓 月極 二限一ヶ月卅錢 料告廣 五號十三字詰 一行五十錢 日刊休 日曜 大祭 祝日の翌日 所刷印 福島縣石城郡平町 田町十六番地 磐城新聞社印刷部 印刷人 川崎文治

新聞製作者としての川崎君

承前、年少後輩の記者中には所謂一社一人主義の極めて人手の不足な川崎君に對し往々自稱特ダネとも稱すべき材料を提供することがある。而も珍奇と清新とを生命として其日の新聞を作つて行かねばならぬ川崎君としては手不足から来る當然の結果として所謂咽喉から手の出る様にその提供を喜ぶ筈であるに拘らず「折角だけれどもそうした材料は僕の處では載せない方針だ」と稱して何等の執着を見せない場合が少なくない。之即ちより良き完全なる新聞格を築き上げる必須の條件としてその造次頗る取捨選擇に最も細心周到なる注意を拂ひつゝかかるかを最も雄辯に證據立てるものであつて斯の如き川崎君の態度は永年社會の善良なる記者として訓練づけられた當然の所産で材料選擇上自づと年少後輩とを優遇するを異にする結果である云

株式買中値

Table listing stock market values for various companies and banks, including 磐城銀行, 平銀行, 磐越銀行, etc.

丸登株式店

平町田町電話三三三番 福島縣石城郡平町 字長橋町卅五番地 常磐毎日新聞社

募集

投稿を歓迎します 値するものであると信ずる 尚ほ私は曾て川崎君が私に向つて發表した對談中の一語を根據とし君が新聞製作上如何に繊細なる注意を拂ひつゝあるかに就て一言して見度いと思ふ。

# 平町市制實現近し

## 南裡一帯の膨脹と共に

平町南裡開墾に關する宅地實行委員は本日午前一時より役場内に集合、道路敷地寄附に對する保證の件に關して協議した。たが近く總ての懸案解決に至らば竣成後は同方面一帯の膨脹著るしきものあるべくまた山の手方面と目される、舊城跡は住宅地として適當の爲めに近來異常の發展を來し更に

### 道路の 新設及び水道

の完成と相俟つて新市街を現出すべく期待されて居る而して一方腐朽甚だしき町役場は是れを南裡に新築し現在の商業學校を元警中グラウンドに移轉し同敷地を住宅地に開放するから市制實施の機運は既に目眩の間に迫つて居る

## 温泉 復活 決議

### 入山側に交渉

石城郡湯本町が温泉を復活せしめんがため入山採炭株式會社に對する契約條項を迫らんとする湯本復湯會主催の區民大會は十日開會決議文左の如くである

温泉の復活は湯本繁榮の鍵鑰にして飲料水の供給亦吾人日常生活の基礎たり。

## 常磐 片々

平町新道路協議會は小田原評定に終らず今度は愈々實現の模様

而し模様だけでは心細い

天氣次第で雨になつたり、風になつたり

幽霊橋は出来上つたがカケゴエ道路はどうなるやら

口は禍の門、泥棒呼ばりて警察沙汰

相馬沖の海賊船警戒に警戒

渉委員を激勵援助して右交渉案件の有利且つ急進なる解決を見ることに努力奮闘を各まさらしめることを期す。

右決議す

## 何時建つのか 中佐の銅像

寄附金振はず

大越中佐顯彰會の寄附額は千三百廿圓四十錢になつたが不景氣や其他の關係で未だ建設費の十分の一にも満たない由

## 海賊船の警戒に 警城丸が出動した

### 相馬の禁漁區侵入問題で 沿岸一帯に物々しき取締

相馬郡沖合なる禁漁區に宮城縣荒濱及び開上濱の漁船等侵入し本縣沿岸の漁船に對し暴行を加へた爲め本縣香坂知事は力石宮城縣知事に交渉して警察の警戒を嚴にするると同時に一方本縣水産試験場所有警城丸を十一日右沖合に向つて出動せしめたから若し海賊船にひとしい加害船を發見すれば容赦なく是れを捕獲し直ちに地方官憲に引渡しの手續をなし嚴重に暴行船の警戒を爲す等因に飛塚本縣試験場長は「昨日警城丸は出動したので、此騒ぎは本縣漁村の死活問題では是れが爲め本縣漁村の漁業は全く杜絶するに至るやも知れない、各漁村民等も背に腹は代へられずいづつ如何なる不穩の

## 女房雲隠れ

### 亭主の搜索願

石城郡大野村字田端農佐兼富治妻あさの(二六)は去月十日午後三時頃四倉町に木炭運搬し駄馬を轆いて歸宅の途に知合に馬を頼んだ儀行術不明となつたので本日亭主から平署中搜索願出た

## 女同志で 泥棒呼ばり

### 相手が青島

平町字青島に居る(一〇)は去る二日午前十時頃同町吉田光雄の妻せいに對して泥棒呼ばりをなし信用毀損とて平署に告訴さる

## 女中と番頭が グルの〇賣

### 平署拘留言渡

平町字青島に居る(一〇)は去る二日午前十時頃同町吉田光雄の妻せいに對して泥棒呼ばりをなし信用毀損とて平署に告訴さる

## 眞性慾 眞面目な問題

男子と雖も男性的完成を故意に妨げれば何時までも子供らしく、細い聲をして居ることが出来る、昔羅馬の教會ではコーラスの青年の聲を保存するために去勢したさうである。去勢すれば性の發育が停止すると共に喉頭の變化も行はれないのである。但し支那の官宦のやうに既に成人した者の辜丸を奪つても、子供の状態に復歸させることは出来ない。肩も女と男とでは大體異つて居る、男では骨をたつて角ばつて居るが、女はなで肩で丸い、肩の幅も女では大分差がある。胸廓も女は狭い、中へ入つて居る肺も女の心が其の人の拳の大きさ程あるのが常例であるが、華奢な女の手拳が小さかるべきは當然で、要するに女は男程荒つぽい仕事に向かない譯である。胸から腹へ移る處が男子では目立つ程細くなるが、女では此の差が著しくない。これも男女の異なる處である (續)

## 青年懇親 住吉屋本店で

平町青年團にては十六日午後六時から住吉屋本店に於て忘年會を兼ねた懇親會を開會する筈で會費二圓五十錢の由

## 仲里法學士

### 平町で辯護士

湯本町出身元東京地方裁判所司法官試補仲里文平氏は今回平町字田町平商東隣にて辯護士を開業したが氏は大正七年赤門出身の法學士である

## 不平受付

### 投書歡迎

二重の徴税。私は平町に在住する獨身俸給生活者ですが昨年度前期の縣稅戶數割を重複徴收されましたので拂戻方を係員に申告した程度も催促されましたが未だ何んの通知もありません、どうぞ私の實名は新聞へ掲載せず町當局者の答を伺つて下さい (實名を秘す)

伏見助役の答……係の者を調べて見ましたが實際其事實があるやうです郡役所でも打合せましたので居るので少し手續上でもあり何んとか拂戻の方法を講じ度いと思つて居ますから近く貴方に役場迄來て載いて種々相談します

## 美善

### 本事は割合に難

世の中の善い本事は割合に難れ勝ちなもの集めて是非社會に知らせねならぬ美善徳行を毎日紹介する欄であります、勿論社會風教上に裨益すべき事からは報導記事として

平町 人 事

出生

△鍛冶町 渡邊トメ長男由雄

△結婚

△石城郡 大浦村草野治三郎(二五)三丁目江尻ユキ (二三)